
あなざーわーるど

トモコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなざーわーるビ

【ZPDF】

Z8568D

【作者名】

トモロ

【あらすじ】

遠い世界でのファンタジー小説かなしいストーリーだがとても美しい景色が広がる

空氣そのものが、薄い緑色だった

かなしみといつもの自体があまり存在しない所だったような気がする

私は、天空まで伸びる高い塔から吸い込まれるかのように下界を見下ろしていた

恐怖感というものはない

丁度、日が昇り始めたくらいの刻か、東の空がうす紫と淡い桃色に染まってきた
少しだけ顔を覗かせた日の光は、石造りの塔をキラキラと照らしていた

私は、長い衣を纏つた男だつた

年は、三十くらいか、東の空の雲間にじつと目を懲らしている

何ががこちらに向かつて飛んでくる
大きくて黒い陰 飛行機？

それは、どんどんこちらに近づいてきた

生き物だった

「ルーン」と高い声で啼いたその生き物は、家くらいの大きさはあるだろうか、長い首に、長い尾。つるんとした薄緑色の皮膚は、以前水族館で見た「白いるか」を思わせた
黒くてやさしい目をしていた

「おいで」 そう呼んだ私の声に、その生き物はゆっくりと近づいてきた

背中に広がっている葉脈のような薄い一枚の羽が波打っていた
私達を包む空氣は、やさしい緑色だった

とつぜん場面が変わる

さつきの男と同じ人物なのだろうか

私の姿は、そう五十年代半ばくらいだろうか、白髪交じりの男に変わつている

何かの研究をしているのだろうか、

薬品やたくさんの機材が部屋中に所せましと並べてある。

私は、何かに夢中になつてている

子供のように無邪気に何かを作つてている

楽しくて仕方がないのか、男は食べることも忘れて一心不乱になにかを作つてている

孵卵器のようなものの中に小さなカエルのような生き物が動いていた実験動物なのか

さつき見た うす緑色のやせしい生き物によく似ていた

また突然、場面が変わる

ものすごい轟音 天も地も張り裂けそつなくらいの爆風

地平線が紅く染まった

夕日が何十にも重なつたような大きな紅い輪

地面が割れた

落ちていく私

どこかに叩き付けられた

焼けただれた手

何かがやさしく顔をなめた

くつつきかけた皮膚の間から見えた生き物

紅くやけただれた皮膚で私に覆い被さるよつとして、じつといひながらを見ている

あの生き物だった

黒い目に醜い私の顔が映っていた

うす緑色だった皮膚は、私が行つた度重なる実験の為に紫色に変色していた

たくさんの子供達も実験の為に殺していった

今、その実験の為に世界が終わろうとしていた

何も考えていなかつた

ただただ、無邪気におもちゃで遊ぶように沢山の兵器を作り出していった

最後の瞬間

「ルーン」と啼いて、その生き物は、私を守つたまま口を閉じた

喰い殺された方が、余程ましだと思った

初めて自分がした事の意味が解った

心のままに生きることが恐ろしい

その後、私は何億という時を鉱物として生きることにした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8568d/>

あなざーわーるど

2010年11月24日09時49分発行